

2021年センター報告・日誌

1. 社会科学古典資料センター運営

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

1～3月は、2020年9月14日以降の運営を継続した。すなわち、

- ・授業利用と見学受入、学外者の利用を休止した。
- ・利用受付は1日1人とし、利用した閲覧席とロッカーは消毒したうえで次回利用まで1週間空けることとした。
- ・30分ずつ開館時刻の繰下げ・閉館時刻の繰上げを行い、施設設備の消毒時間にあてた。
- ・開架資料の郵送貸出及び複写物の自宅郵送を可とした（実際には郵送申込なし）。

3月21日に新型コロナウイルス感染症拡大防止のための一橋大学の活動指針（以下「本学活動指針」という）が「レベル2」（制限（小））となったこと、および1年間の運営経験を踏まえて、4月1日からの運営を次のように変更した。

- ・開館・閉館時刻の繰下げ・繰上げをそれぞれ15分ずつに短縮した。
- ・学外者の利用受付を再開した（実際には利用申込なし）。
- ・貸出資料および複写物の郵送は原則不可（教務課へ「継続的なオンライン対応を行うべき学生」の申請をした学生のみ対応）とした（実際には郵送申込なし）。

引き続き利用受付は1日1人とし、授業利用と見学受入を休止した。

以降、4月12日に本学活動指針が2020年6月14日以来再び「レベル3」（制限（中））に引き上げられ、10月18日には「レベル1」（一部制限）に引き下げられたが、4月1日からの運営を継続した。

書庫空調機の修理

夏季の冷房稼働時期になって書庫の冷房を入れたところ室温が下がらず、空調機の故障が判明した。7月下旬～8月上旬にかけ応急処置を行い、2階の修理は9月1日に、3階の修理は11月4日に完了した。3階のほうが高湿多湿となったため、修理完了までの間、窓（消防隊出入口）を紙でロールスクリーン状に3層に覆って断熱を図るとともに、家庭用除湿機3台を設置して、環境悪化防止に努めた。

閲覧室への無線LANアクセスポイント設置

センター閲覧室の調査研究基盤整備として、10月のキャンパスネットワーク更新のタイミングで閲覧室に無線LANアクセスポイントを設置した。これにより、全学無線LANサービス1284Wirelessおよび国際学術無線LANローミング基盤eduroamの利用が可能となり、センター利用者は、資料閲覧と同時にインターネット上の電子リソースや文献管理ツール等へのアクセスができるようになって、調査研究の利便性が向上した。

小泉明元学長関連事業

いづみ会（小泉明ゼミOB会）からの寄附金による小泉明元学長関連事業のうち古典資料センター分として、フランクリン文庫のデジタル化公開と、フランクリン文庫マニュスクリプト収納キャビネットの改修について検討を行った。

マニュスクリプトを収納している木製キャビネットは有機酸ガスを放散しており、かねてから資料への悪影響が懸念されている。9月6日～10月4日に、有機酸の遮断・吸着方法についてパッシブインジケータを用いて調査を行った。現在、調査結果をもとに、効果的な改修方法を検討しているところである。

西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」

文部科学省共通政策課題（文化的・学術的な資料等の保存等）の予算配分を受けて2016～2019年度に実施した「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」の一環として立ち上げた西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」を活用し、2021年も継続して、地震対策、保存修復の外注、フォーラムなどの情報交換を行った。

2. 研究事業

共同研究

国立民族学博物館共同研究課題「博物館における持続可能な資料管理および環境整備—保存科学の視点から」（2017年度～2021年度、研究代表者：園田直子）に馬場助教が参加し、「非博物館施設および個人宅における資料管理・環境整備の課題と対策」というテーマで発表を行った。

その他

ICOM DRMC 年次大会に馬場助教が参加し、“Saving the Water-Damaged Library Books in the 2019 Typhoon Aftermath in Japan”というテーマで発表を行った。

3. 資料の公開・利用促進

町田市立国際版画美術館展覧会への資料出陳

町田市立国際版画美術館の企画展「#映える風景を探して 古代ローマから世紀末パリまで」（会期：前期4月24日～5月23日、後期5月25日～6月27日）へ、蔵書11冊を出陳した。残念ながら、同館は東京都に発出された緊急事態宣言を受けて4月25日から5月31日まで臨時休館となってしまったが、6月1日の展覧会再開とともに、「ヴァーチャル展示室」として展覧会場の様子が360度のヴァーチャル映像で9月1日まで配信された。

エジンバラ版『国富論』第2巻のデジタル化公開

国内外の研究者等から書誌の問い合わせが多いエジンバラ版『国富論』第2巻（An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations / by Adam Smith ; v. 2. -- London : Printed for W. Strahan, and T. Cadell ... and W. Creech, at Edinburgh, 1776. 村瀬文庫収蔵【貴E:140:2】）をデジタル化し、一橋大学機関リポジトリ HERMES-IR（以下「HERMES-IR」という）にて公開した。

<https://hdl.handle.net/10086/72534>

「16 - 18 世紀法学文献コレクション」目録作成

「16 - 18 世紀法学文献コレクション」目録データベースの追加データ採録を、引き続き一橋大学大学院法学研究科の勝又崇氏の協力を得て、4月22日から再開した。

附属図書館における電子的情報発信の促進業務

附属図書館における電子的情報発信の促進業務の一環として、現在 HERMES-IR に DjVu（デジャヴ）形式画像で公開されているフランクリン文庫資料について、PDF 及び JPEG 形式画像の作成やメタデータの修正等の作業を、学内ワークスタディ事業を活用して実施した。

4. 講習会

西洋社会科学古典資料講習会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年に引き続き2021年も西洋社会科学古典資料講習会の開催を中止した。

西洋社会科学古典資料セミナー

西洋社会科学古典資料講習会に代えて、10月27日に、半日間の短縮プログラムとしてオンラインで西洋社会科学古典資料セミナーを開催した。大学図書館職員をはじめ、国立国会図書館や美術館等図書館類縁機関の職員、研究者、大学院生・学部生、高校生など幅広い層から179名の参加があった。

プログラムは以下のとおり。

- | | |
|---------|--|
| 書誌学 | 昔の本はこうだった—西洋古書について
高宮 利行（慶應義塾大学名誉教授） |
| 資料保存・管理 | 事例から学ぶ図書館 IPM—貴重書を中心に—
井上 桃子（株式会社明治クリックス文化財 IPM 事業部課長） |
| 古典研究 | 福田徳三とドイツ歴史学派経済学—K. ビュッヒャーとの関係を中心に—
森 宜人（一橋大学社会科学古典資料センター教授） |

西洋古典資料保存地域講習会

通算3回目となる地域保存講習会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2022年へ再延期した。

5. その他

メンガーのドキュメンタリー映像製作協力

メンガー著『国民経済学原理』（Grundsätze der Volkswirtschaftslehre / von Carl Menger. -- Wien : Wilhelm Braumüller, 1871. 【Menger/Mon.:2142 他】）出版150周年を記念して、Hayek Institut と Austrian Economics Center がメンガーのドキュメンタリー映像の製作を開始した。センターも資料提供という形でこの映像の製作に協力した。

ギールケ記念論集への写真提供

オットー・フォン・ギールケ（Otto von Gierke, 1841-1921）の生誕180年、没後100年に際しドイツのNOMOS社からギールケの記念論集の出版が計画され、その表紙用にギールケ文庫の写真を使えないかと、ハンブルク大学のTilmen Reppen教授から屋敷前センター教授を通じて打診があった。提供した写真のうち『ドイツ団体法論』第1巻（Das deutsche

Genossenschaftsrecht / von Otto von Gierke ; Bd. 1. -- Berlin : Weidmann, 1868 【Gierke/P:161:1】
のギールケによる書込み部分の写真が採用された。

出版されたギールケ記念論集は1冊寄贈を受けた。Der Staat als Genossenschaft : Zum rechtshistorischen und politischen Werk Otto von Gierkes / Peter Schröder (Hrsg.). -- Nomos, 2021. (Staatsverständnisse / herausgegeben von Rüdiger Voigt ; Bd. 155) 【3110:1480A】

日誌 (2021年1月～12月)

- 1月8日 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県的首都圏1都3県に緊急事態宣言適用 (2回目)。本学活動指針が「レベル3」(制限(中))となる。センターの運営は2020年9月16日から変更せず
- 2月1日 森宜人センター准教授が教授に昇任
- 3月4日 ベルンシュタイン・スヴァーリン文庫脱酸性化処理納品 (55冊)
- 3月18日 2020年9月にHERMES-IRでPDF画像を公開した『メディチ家帳簿』について, IIIFに対応したJPEG画像を公開した
- 3月21日 首都圏1都3県の緊急事態宣言解除。本学活動指針が「レベル2」(制限(小))となる
- 3月26～29日 施設課による換気量(CO₂濃度)測定
- 3月29日 令和2年度第3回定例打合せ(Web会議)
- 3月31日 『Study Series』No.77 森 宜人 『アフター・コレラのハンブルク: エピデミックによる失業の発見と公共職業紹介所の展開』を刊行
- 3月31日 『一橋大学社会科学古典資料センター年報』No.41(電子版)を刊行
- 4月1日 開館時刻の繰下げ・閉館時刻の繰上げを15分に短縮し, 開館時間を9:15～12:00, 13:00～16:45とする。学外者の利用受付を再開する
- 4月12日 東京都の一部地域に蔓延防止等重点措置が適用される。本学活動指針が「レベル3」(制限(中))となる。センターの運営は変更せず
- 4月24日～6月27日 センター所蔵資料を出陳した町田市立国際版画美術館の企画展「#映える風景を探して 古代ローマから世紀末パリまで」が開催される(ただし4月25日～5月31日臨時休館)
- 4月25日 東京都に緊急事態宣言適用 (3回目)
- 6月4日 令和3年度第1回定例打合せ(Web会議)
- 6月15日～8月10日 学内ワークスタディ事業により電子的情報発信の促進業務として画像作成・メタデータ修正等を実施
- 6月18日 第22回(令和3年度第1回)社会科学古典資料センター専門委員会(Web会議)
議題1 令和2年度決算報告案および令和3年度予算案について
2 令和3年度事業計画について
3 Study Series 執筆要領の改正について
4 令和2年度事業報告について
5 西洋古典資料地域保存講習会の開催予定について
6 ひらめき☆ときめきサイエンスの開催について
- 6月20日 東京都の緊急事態宣言が解除され, 蔓延防止等重点措置に移行
- 7月12日 東京都に緊急事態宣言適用 (4回目)
- 7月13日 書庫の冷房を稼働, 21日に故障が判明

8月26日	閲覧室に無線LANアクセスポイント設置
9月1日	書庫2階の空調機修理が完了
9月6日～10月4日	フランクリン文庫手稿収納キャビネット有機酸調査(1回目9月6日～13日,2回目13日～21日,3回目27日～10月4日)
9月30日	東京都の緊急事態宣言解除
10月18日	本学活動指針が「レベル1」(一部制限)となる
10月21日	令和3年度第2回定例打合せ(Web会議)
10月26日～29日	施設課による換気量(CO ₂ 濃度)測定
10月27日	西洋社会科学古典資料セミナーをオンラインで開催
11月2日	令和3年度第1回『一橋大学社会科学古典資料センター年報』編集委員会(Web会議)
11月4日	書庫3階の空調機修理完了
12月27日	エジンバラ版『国富論』第2巻の画像をHERMES-IRで公開

利用状況(2021年1月～12月)

開館日数	231日
来館者(閲覧者)数	101人
(学内)	101人
(学外)	0人
利用(閲覧)冊数	197冊
(学内)	197冊
(学外)	0冊
文献複写冊数	42冊
見学者数	0人
講習会・研修会参加者数	187人
レファレンス質問件数	14件
学内授業利用回数	0回
学外授業利用回数	0回
館内展示実施回数	0回
館外展示貸与冊数	11冊
学内他部局資料保存修復冊数	431冊